２０２６年１１月１３日
宮　崎　県　綾　町
公益財団法人イオン環境財団

「綾町イオンの森」第３期植樹を実施

－ 自然共生サイトの拡大に向け新たな植樹がスタート －

宮崎県東諸県郡綾町（町長　松本俊二）と公益財団法人イオン環境財団（理事長　岡田元也　イオン株式会社　取締役兼代表執行役会長 以下当財団）は、１１月２１日（土）、「綾町イオンの森」の第３期植樹を実施します。

日本最大規模の照葉樹林が広がる綾町は、２０１２年ユネスコエコパークに登録されました。当財団は、町立綾中学校建設のために伐採された杉林跡地を本来の里山にするため、２０１３年から３年間、そして当財団が日本ユネスコエコパークネットワークとの連携協定を機に２０１７年から３年間の合計約２万本の植樹を実施しました。２０２３年からは、「綾町イオンの森」の利活用や綾町の伝統文化を体験するなど、育樹と環境教育に取組んでいます。

このような取組を踏まえ、２０２４年に「綾町イオンの森」と隣接する「割付地区の日向夏畑」が環境省の自然共生サイトに認定されました。本認定を受け、里山の新たな価値創出を目指し綾町と当財団は連携協定を締結し新たな活動を推進しています。

本年は、自然共生サイト拡大に向け、２００名のボランティアの皆さまとともに、これまでの森に隣接した杉林の跡地で、里山林の再生を目指し１，２００本を植樹します。また環境教育活動として、ビオトープや昆虫の住処であるバグズハウスの調査、草木染め体験、キーホルダーやクリスマスリースづくりなどの木工体験も実施します。

綾町と当財団は、次代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐため、今後も連携し、里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取組んでまいります。

記

日　時	２０２６年１１月２１日（土）１０：００～１５：３０（雨天決行・荒天中止）		
場　所	綾町イオンの森（綾町大字北俣２０２７番地１）		
実施内容	・植樹　・環境教育（ビオトープとバグズハウス調査、草木染め体験、木工体験）		
参 加 者	２００名		
主　催	綾町・公益財団法人イオン環境財団		
協　力	宮崎中央森林組合・イオン九州株式会社		
出 席 者	綾町	町長	松本 俊二
	綾町議会	議長	松浦 光宏
	綾町	副町長	蓮子 浩一
	綾町 教育委員会	教育長	高松 公俊
	宮崎中央森林組合	代表理事組合長	本田 智光
	宮崎県農業協同組合	理事	坂元 芳郎
	公益財団法人イオン環境財団	理事長	岡田 元也
	イオン九州株式会社	代表取締役社長	中川 伊正

以　上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと岡田卓也（当財団名誉理事長　イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境に特化した民間企業単独の財団法人として１９９０年に設立されました。現在は「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の４つの事業を中心に活動しています。

■「植樹」事業

万里の長城での１００万本を含め、国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を継続実施しています。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹本数は、１９９１年から累計約１，２８７万本（２０２６年２月末時点）となります。

・綾町での活動

植樹・育樹	植樹本数（本）	参加者（名）
第１期（２０１３年～２０１５年）	14,200	1,750
第２期（２０１７年～２０１９年）	5,200	800
苗木の里親プロジェクト（２０２１年）	450	450
さくら植樹（２０２１年～２０２２年）	1,350	350
育樹（２０２３年～２０２５年）	－	620

・九州での活動（綾町以外）

植樹・育樹	植樹本数（本）	参加者（名）	目　的
長崎県南島原市（２０１０年～２０２５年）	55,500	3,800	無線送信所跡地の再生
大分県竹田市　（２０１６年～２０１８年）	23,300	1,900	伐採跡地の森林の再生

■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額１億円の助成を行っています。２０２５年までの３５年間で累計３，６５７団体、助成金額は３２億９，２３５万円となりました。現在は、里山の保全と利活用を推進する団体を助成しています。
宮崎県で活動する助成先は、累計20団体、助成総額979万円となります。

■「環境教育・共同研究」事業

国際的な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しています。大学連携では、京都大学・千葉大学・東京大学・東北大学・早稲田大学と、地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートしました。また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用による持続可能な地域社会を目指し連携しています。



バグズハウス



草木染め